

共同研夏の研修会を実施しました！

聴覚障がいの子どもの保育・教育に携わっている先生を対象に、7月24日本校で共同研夏の研修会を行いました。保育園・幼稚園・こども園から6名、小学校から9名、中学校から4名の先生方が参加されました。今回の研修のメインは、だいせん聴覚高等支援学校が作成したVR体験でした。高等学校のホームルームを聴覚障がいのある生徒になったつもりで参加するという設定で、「視覚情報を得るためにキョロキョロする気持ちがわかった」「教室の騒がしい音が気になる」「音としてはわかるけど、何を言っているか 理解まで時間がかかる」といった感想が聞かれました。聴覚障がいのある子との関わりが3年未満の先生がほとんどだったにも関わらず、指導で大切なことをVR体験で捉えていました。

また、本校は中学部までですので、「切れ目のない支援」という意味でも高等部のだいせん聴覚高等支援学校と一緒に研修を企画できたのは良かったと思います。冬にも共同研の研修があります。先生方は是非ご参加ください！



VRは360度好きな角度の映像を見ることができ、それぞれの先生の視点で体験することができました。

今回体験できなかった先生も、だいせん聴覚高等支援学校までご連絡いただければ体験できるそうです！（所属校を通じて連絡してください。）

早期教育相談

一学期に楽しんだ歌遊び、ふれあい遊びをGoogleクラスルームで配信しました。画面を通して先生の姿を見て、子どもたちは少し不思議に思ったり、楽しんだりしていたそうです。お父さん、お母さんがしっかり向き合ってスキンシップをとり歌遊び、ふれあい遊びをしながらコミュニケーションをとり、身体と気持ちをリラックスさせます。忙しいときにこそ、ちょっとした時間を大切に使うことで楽しんで欲しいと思っています。今後も不定期ですが配信をしていきますので楽しみにしてください。

小学部 リーディングスタッフ

中学校への進学に向けて、ループサポートプランの申し込みがあり、地域の小学校に行きました。子どもの実態とどのような支援が必要かを把握するため、学校生活での様子を見学しました。また、担任の先生、保護者に中学校への進学に向けて、必要な配慮などについて懇談しました。2学期は、進学する中学校を見学し、配慮についての話をした後、3学期、もしくは年度初めに実施予定の教員研修の打ち合わせをします。

スムーズな引継ぎができるよう、個々に合わせた支援を考え、どのような配慮をどこまで行うかを相談しながら進めています。進学先につなぐ「ループサポートプラン」を少し紹介しました。

中学部

今年度は居住地校交流の参加を希望している生徒が5名いる中、3校の中学校から出前授業の依頼を受けました。写真は堺市内の中学校へ行った際に撮ったものです。

中学1年生から毎年参加しており、1年生の際に理解授業をし、この時は、もう少し詳しい内容を聴覚支援センターの教員からと、本人も自分の話をしました。「きこえ」について配慮を申し出ることはありますが、自分の努力で何とか出来る範囲はがんばる！と伝えていました。



通級

小学生通級は、1学期に通級担当教員が学校訪問を行いました。たくさんの小学校が「堺聴覚と共に通級生の学習を支えていきましょう！」と心強い言葉を返してくれました。その後、理解学習の申し込みや、普段の学習の様子の情報提供など、小学校の先生からの働きかけが増え、学校訪問の重要性をひしひしと感じています。

中学生通級では、9月は2名の通級生が、交流学習会で本校中学部に来ました。中学校2年生の通級生は、美術では本校の生徒と一緒に新聞紙で文化祭の展示物を制作していました。中学校1年生の通級生は、理科の実験について、在籍校ではひとりひとり実験することはないが、堺聴覚ではみんなが実験していてわかりやすかった、と感想を言っていました。堺ならではの体験をしてもらえたかと思います。



共同研講演会 12月25日(木) 10:00～

和歌山県立和歌山ろう学校から2名の先生を招いて講演をしていただきます。講演後は、「難聴理解かるたの和歌山ろう学校バージョン」をしながら、聴覚障がいの子たちの理解を深めていただけたらと思います。年の瀬のお忙しい時ですが、聴覚障がいの幼児児童生徒と関わる先生方と一緒に学ぶことができたかと思っています。